



整理No. 2018-17		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2017年 6月 28日(水) 8時 15分 天候(不明) 温度()℃湿度()%			
災害区分		不休災害 <u>休業災害</u> (休業: ※2018年6月末 休業中)			
被災者	部門	製造部門		雇用形態 <u>正社員</u> 、派遣、契約、その他()	
	年齢	22歳	性別: <u>男</u> 女	勤続年数 4年 ヶ月	経験年数 年 3ヶ月
	傷病名	橈骨(とうこつ)及び尺骨の開放骨折			
	傷病部位	左腕			
災害発生状況	① ステンレスドラム(200L)に樹脂、溶剤を約30L投入後、帯電防止ビニール袋に入れた端数顔料約20kgを攪拌投入中、ビニール袋がディスパースhaftに巻き込まれ同時に左腕が巻き込まれた。		状況概略(写真orイラスト)		
					
					
			シャフトカバーより下の部分でビニール袋が巻き込まれた。		
災害の型 ^{※1} :5 はさまれ、巻き込まれ		作業の形態: <u>定常</u> 、非定常、その他()			
起因物: ビニール袋		特記事項 特になし			
原因分類	1.人的要因(man):KY不足、不安全行動				
	2.物に関する要因(machine):巻き込まれ防止カバーの長さ不足、ビニール袋での仕込み作業仕込み位置からディスパースhaftまでの距離不足				
	3.環境要因(media):特に無し				
	4.管理的要因(management):異動者へのOJT不足				
対策	①回転しているシャフトと原材料袋とが接触しないような設備的対応を行う。 (現状、シャフトカバーを設置しているが、シャフトと袋の接触を確実に回避する為、仕込口への柵設置等を行う。)				
	②ラボ等、柵設置が難しいものについては、攪拌停止投入またはポリカップ等への容器へ移し替えての投入で対応する。				
	対策分類 ^{※2} : 1-4安全設計				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)